

みやぎの国保



[No.277]



伊豆沼・内沼はすまつりと
くりはら田園鉄道公園

国保のなかまたち〈栗原市〉
「住みたい田舎の東北王者」 2

宮城県だより 4
「保険者努力支援制度の最新動向」

平成29年度特定健康診査受診状況 5

こくほ随想 6
合同会社生活習慣病予防研究センター
代表 岡山 明
・ 疾病の連鎖を断つ保健事業

Health Information 7
東北大学病院 総合外科 武者 宏昭
・ 胃癌の話 その2

国保連 report 8
第三者行為求償事務処理状況
再審査申立状況 (保険者申立)

国保連コーナー 12
・ 各種イベントのご案内
・ 「風しんから、あなた自身と周りの人を守るために
あなたができること」

栗原市

平成17年4月1日、築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鷺沢町、金成町、志波姫町、花山村の栗原郡の10町村が合併し、「栗原市」が誕生いたしました。宮城県総面積の11.0%を占めており、県内第1位の広さを有しております。



世界谷地原生花園と栗駒山



国保の状況

本市の人口の推移は昭和60年（旧栗原郡）以降減少を続けており少子高齢化が進んでいます。5歳階級別人口を見ると、60代前半から70代前半にかけての人口が他の年齢層に比べて多い状況であり、市全体の国保加入者の63.3%（平成29年度）を占めています。一人当たりの医療費は県内平均より高い水準となっています。今後、人口の減少により一層の高齢化が予想されています。

市の国保の概況

	H28年度	H29年度
市の人口（年度末現在）	人 70,059	68,946
国保世帯数（年度末現在）	世帯 10,435	10,156
国保加入割合（被保険者数割）	% 25.69	25.05
収納率（現年分）	% 93.36	94.23
被保険者数（年度平均）	人 18,000	17,268
1人当たり医療費	円 395,321	394,443
特定健康診査受診率	% 47.4	47.7

住みたい田舎の東北王者

栗原市の国民健康保険業務は健康推進課で資格・給付業務を行い、税務課で賦課・徴収業務を行っています。窓口は旧町村単位の10総合支所で行っています。

栗原市は2019年度版「住みたい田舎ベストランキング」で東北1位を獲得しました。その背景には子育て支援策の充実や首都圏向けの情報発信など多方面から総合的に評価されたようです。健康推進課においても、育児関係として「パパママセミナー」や「産婦・新生児訪問事業」、生活習慣病予防として「気軽に☆運動セミナー」や「おこの栄養教室」など積極的に取り組んでいます。暮らしやすい充実したサポートで人口減少に歯止めをかけ、健康増進で医療費の抑制につながるよう職員一丸となって取り組んでいます。

保険税の収納対策については、現年度分の納め忘れと思われる方などに電話催告を行う目的で、平成22年度から栗原市納税案内センターを設置し、収納率の向上を図っています。会話の中で納付困難という方には、出来るだけ税務担当者として引き続き相談ができるような体制づくりに努めています。



回着柳駅構内

わがまちの取り組み

特定保健指導実施率向上の取り組みと住民のニーズに対応

特定健診の受診率向上のための保健推進員の訪問

栗原市では、保健推進員が各家庭を訪問し、健診申込書や受診票を配布しています。保健推進員が各家庭を訪問するときには、市で実施している保健推進員研修会で得た生活習慣病の知識・受診の必要性等をお話ししながら、申込書・受診票を配布し、住民へ特定健診の受診勧奨を行っています。



栗原市マスコットキャラクターねじりほんによ

特定保健指導実施率向上への取り組み

まずは特定保健指導を知ってもらうため、啓発用チラシを作成しました。表面は、手にとって見てももらえるよう特定健診から特定保健指導までの流れをイラストで示し、裏面には詳しく知ってもらえるよう特定保健指導の内容を記載しました。このチラシを特定健診の受診票に同封、加えて特定健診受診時にも再度配布、さらには特定健診の会場に掲示して周知の徹底に努めています。

特定保健指導対象者へは通知のみならず、個別に電話連絡し、参加勧奨を行っています。電話による参加勧奨を行うと、参加できない理由も把握することが出来ます。その場合には、日程の変更や訪問等、対象者の都合に合わせて特定保健指導を受けてもらえるよう対応しています。



保健推進員研修会

健康課題と今後の取り組み

疾病別医療費統計による医療費の1位が高血圧、健診結果ではHbA1c値5.6%以上である割合が男女とも宮城県内でワースト1位となっており、生活習慣病の予防は栗原市における大きな課題となっています。特定健診を毎年受診し、生活習慣病を予防することが重要です。令和元年度は特定健診対象者へのアンケート調査を行っています。住民のニーズを反映した取り組みを実施出来るよう専門職（保健師、管理栄養士）、事務職（国保担当者）が一緒に検討していきます。特定健診受診率・特定保健指導実施率の更なる向上を目指していきます。



特定保健指導 啓発用チラシ

保険者努力支援制度の最新動向

保険者努力支援制度への 本県の取組状況等①

保険者努力支援制度は、医療費適正化や糖尿病等の重症化予防などの都道府県や市町村の取組状況を国が評価し、その結果に応じて、国が支援金を交付する制度です。

平成31年度都道府県分の評価（平成30年度の取組等が評価対象）は、指標1（主な市町村指標の都道府県単位評価）、指標2（医療費水準）、指標3（都道府県の取組状況）の3つの指標について行われました。

また、平成31年度市町村分の評価（平成30年度の取組等が評価対象）は、他の保険者にも「共通」の指標である「特定健診・特定保健指導の実施率、糖尿病等の重症化予防や後発医薬品の使用促進に関する取組の実施状況」など6つの指標と国民健康保険「固有」の指標である「収納率向上や医療費の分析等に関する取組の実施状況」など6つの指標の合計12の指標について行われました。

厚生労働省が6月に公表した平成30年度の取組等に関する保険者努力支援制度の評価結果の速報値によれば、本県の評価点は、都道府県分では全国5位（255点満点中、獲得得点196点、獲得点数割合76.9%）、市町村

分では全国24位（体制構築加点含まず880点満点中、市町村平均獲得得点518.89点、平均獲得点数割合59.0%）となっています。平成29年度の取組等に関する本県の評価点と比べると、都道府県分では順位については37位、獲得点数割合については25.5%上昇するとともに、市町村分では順位については14位、平均獲得点数割合については14.4%上昇しました。

その結果、本県における被保険者一人当たりの交付額では、都道府県分では2233円、市町村分では1945円となっています。前年度と比べると、都道府県分では1122円増、市町村分では257円増となり、それぞれ前年度比では101.0%、15.2%増加しました。

今回、評価が大幅に向上した要因としては、都道府県分は、糖尿病性腎症重症化予防の取組など既存指標に関する継続的な取組が評価されるとともに、新たに設けられた保険者協議会への積極的関与などの評価指標に対しての取組を迅速かつ的確に実施できたことで得点率が上昇し、その結果として交付額が増加したものと考えています。

また、市町村分については、平成29年度の取組状況を市町村ごとに評価するとともに、個別ヒアリングなどを通じて先進・優良事例

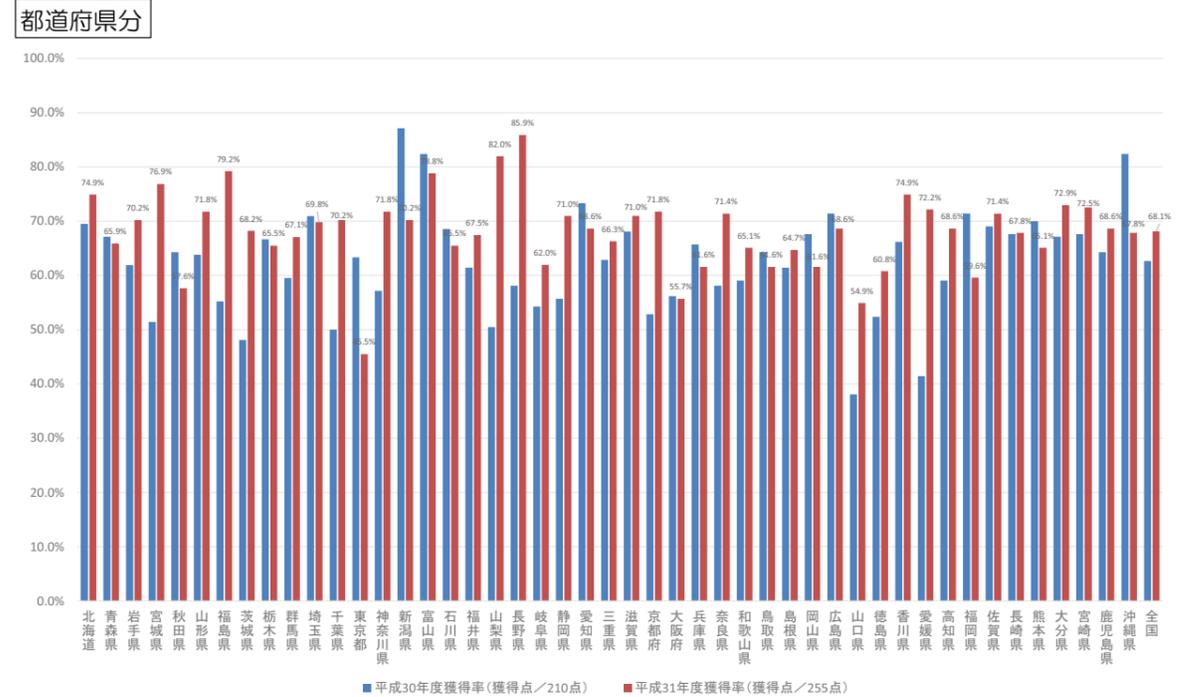
の横展開の促進を積極的に図ったほか、宮城県国民健康保険団体連合会から適切な助言を受けたことにより、ウィークポイントなどに関する認識を共有できたこと、取組実績に応じた得点を確実に獲得できたことで得点率が上昇し、その結果として交付額が増加したものと考えています。

県としては、引き続き市町村の医療費適正化、予防・健康づくり等の取組状況の評価を上げるための計画的な取組が必要と考えており、今後も県と市町村が一体となってさらなる健康づくりを推進し、評価向上を図ってまいりたいと考えております。

県では、今後も、この紙面を活用し、評価向上のための取組状況について、お知らせすることとしていますが、本県の健康づくりの推進と評価向上を実現するためには、保険者と被保険者の皆様の御理解、御協力が不可欠ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

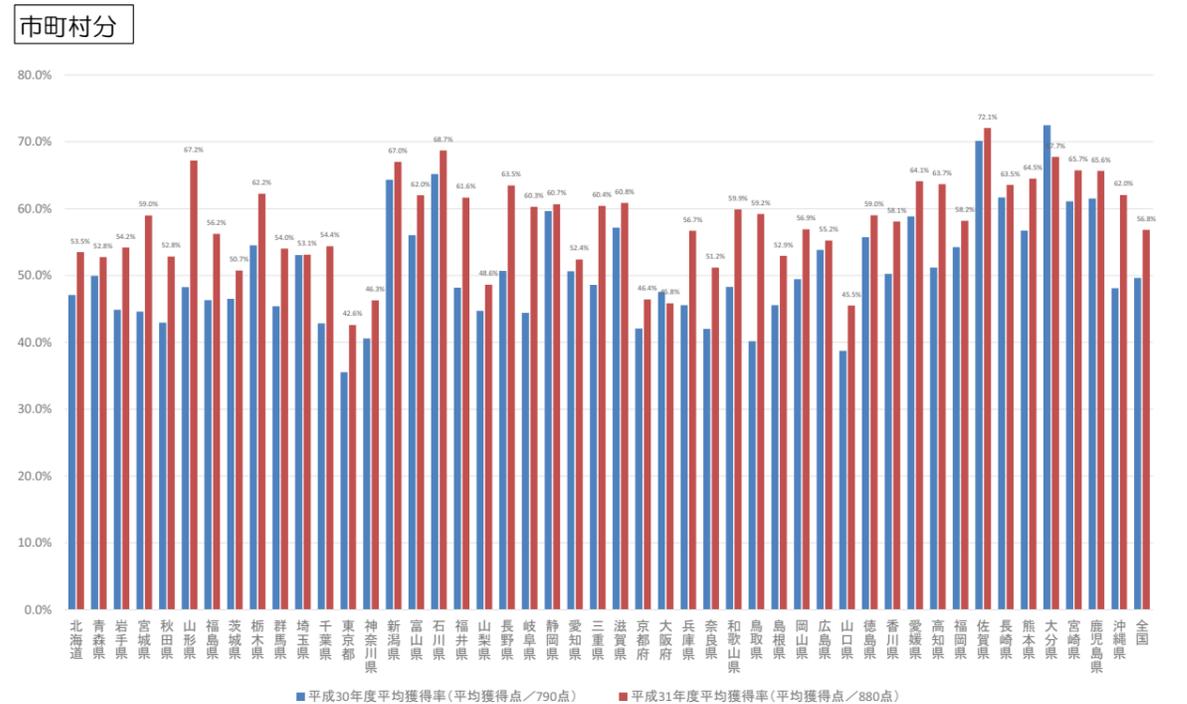


保険者努力支援制度(30年度・31年度)獲得点数割合(都道府県分)



※30年度と31年度で配点が異なる指標があるため、獲得率(獲得点/満点)で比較。

保険者努力支援制度(30年度・31年度)平均獲得点数割合(市町村分)



※30年度と31年度で配点が異なる指標があるため、平均獲得率(平均獲得点/満点)で比較。
※厚生労働省資料から引用

胃癌の話 その2



東北大学病院 総合外科
武者 宏昭

胃癌の症状

早期胃癌は自覚症状がないことが多く、胃潰瘍や胃炎のように心窩部の痛みで見つかることもあります。進行癌でも症状がない場合もあり、このためがん検診が大事になります。

代表的な症状は、心窩部の痛み・不快感や違和感、腹部膨満感、胸焼け、食欲不振、吐き気、嘔吐げっぷなどです。胃癌から出血することによる貧血やタール便（黒色便）で見つかることもあります。吐血する量が多ければ、吐血する場合もあります。しかし、これらの症状は、胃炎や胃潰瘍でも同様に認められます。

さらに進行すると、狭窄によるつかえ感や体重減少を認め、癌性腹膜炎（腹腔内に癌細胞が散布された状態）になると腹水に伴う顕著な腹部膨満を認めます。

これらの症状は、逆流性食道炎や、食道癌などいろいろな疾患にも共通するものです。万が一、これらのような症

胃癌の検査

状態があれば、検診を待たずに医療機関を受診しましょう。

胃癌の検査には、がんを確定するための検査とがんの進行度を診断する検査があります。

バリウムを用いたX線検診では、胃および十二指腸の病変をチェックします。この検査では、胃や十二指腸のひきつれや変形などを確認します。これによりチェックされる病変は、胃・十二指腸潰瘍（瘢痕を含む）や粘膜下腫瘍・癌などのすべてが含まれます。

X線検診でチェックされると、内視鏡検査を行います。癌を疑う病変や粘膜下腫瘍の一部では、生検（細胞をとって調べる）を行い、診断を確定します。顕微鏡的に癌細胞が確認されれば胃癌の確定診断となります。

胃癌が確定すると、治療方針を決定するための検査が必要となります。治療方針を決定するためには、がん

胃癌の治療

の深さ（深達度）やほかの隣接する臓器（脾臓・肝臓・大腸など）への浸潤の有無、離れた臓器（肺・肝臓など）やリンパ節などへの転移の有無を調べて、進行度を確定します。

このため、腹部超音波検査やCT・MRI検査、PET検査などを行います。腹膜播種（腹腔内に癌細胞が散布されている状態）が強く疑われる場合には、全身麻酔下に審査腹腔鏡（腹腔鏡で腹腔内を観察確認）が行われることがあります。

また、病変の範囲と詳細な深達度（深さ）を確定するために超音波内視鏡検査を行う場合もあります。その他、大腸に浸潤が疑われる場合は、注腸検査（バリウムの大腸検査）を行います。採血で、腫瘍マーカーも確認しますが、早期癌や進行癌の一部では異常値とならないこともあります。

治療方法は、患者さんの

全身状態と癌の進行度などから検討して決定されます。癌の進行度は、深達度（深さ）、リンパ節転移の有無（転移個数）と遠隔転移（肝や肺などの臓器）の有無で決まります。早期から進行につれてI期からIV期に分類されます。

胃癌の深達度（深さ）が、粘膜または粘膜下層にとどまるものを「早期胃癌」、粘膜下層より深いものを「進行胃癌」といいます。

胃癌の治療方針を決めるための癌の病期（ステージ）は2種類あります。臨床分類は、画像診断や生検、審査腹腔鏡などの結果に基づいて、癌の広がりや進行度、治療方針を決定するために用います（I～IVの6段階）。病理分類は、手術で切除した病変を病理診断し、実際の癌の進行度を評価（I～IVの8段階）し、実際の根治の割合や術後の追加治療の判断となります。

次回は胃癌の治療の詳細をお話しさせていただきます。

こくほ 随想

(記事提供：社会保険出版社)

疾病の連鎖を断つ保健事業

保険者の保健事業は、健康な医療状態である人の健康増進事業と高額医療防止のための保健事業に区分することができる。前者は公衆衛生の基本的な考え方に基づいて、長く実施されてきた事業である。これに対し後者の高額医療防止のための保健事業とは、高度の異常がみられる未治療者や治療中であつても高額医療に結びつく可能性が高いコントロール不良の人に、積極的な支援を行って高額医療の発生を防ぐ考え方に基づく事業で、その重要性が近年強調されてきている。

その中でも糖尿病性腎症には人工透析など的高額な医療が必要となるため、全国レベルで対策が推奨されており、透析となる可能性の高い被保険者を抽出して、生活習慣の改善などを通じ透析導入の時期を遅らせるための保健事業が実施されている。

糖尿病の合併症は、血糖のコントロールが十分でない期間が長く続くことにより進展すると考えられている。したがって合併症の進

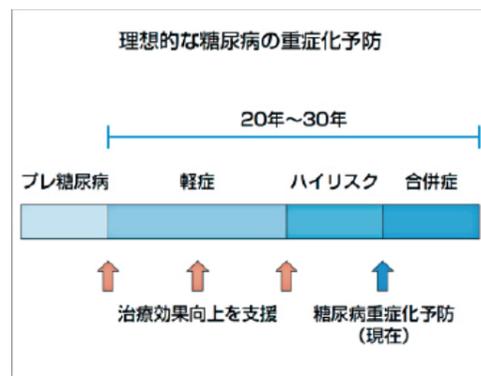
展は罹病期間と強い関連があり、腎症などの合併症はいったん進行すると元の状態に戻すことは困難である。言い換えると合併症は徐々に進行する病気だと考えることができる。また糖尿病の合併症の進行は、その人の過去の治療状況を反映することも知られている（レガシー効果）。治療初期のコントロールが良ければその後の合併症を予防でき、逆にコントロールが悪い状態だとその後の合併症が起りやすくなる。

レガシー効果に着目すると、罹病期間が長く合併症の可能性が高くなる人だけに保健事業を実施するには不十分だといえる。治療開始の初期から対策することで、はじめて「糖尿病→糖尿病性腎症、脳卒中、心筋梗塞」などの重大な疾病の連鎖を断つ保健事業が可能となる。そこで糖尿病の治療初期から、合併症を予防する取り組みを行う考え方が成立する（下図）。治療中の糖尿病患者の名簿を作成管理して、治療を開始して5年以内、

さらに5年ごとに事業を実施する。被保険者の加入期間を通じて糖尿病の合併症予防を系統的に行うものである。

糖尿病は高血圧と比較すると頻度が少ない。高血圧の頻度は高く、60歳以上では半数近い人が高血圧であり、その年代の40%程度が治療しているため、治療中の高血圧者全員を管理することはかなり大変である。それに比べて治療中の糖尿病患者は人口の数%程度だと考えられているので、コントロールの悪い糖尿病患者に限って5年に1回の保健指導を行うのであれば、現実的な数になると思われる。

疾病の連鎖を断つ保健事業を行うための第一歩は、現在治療中で健診未受診の被保険者の受診を促すことである。健診の結果があれば、血糖や血圧などの値から治療中の被保険者のコントロール状況を推定できる。また一度も健診を受診し血糖などの異常所見があつた人には、その後健診を受けなくても継続的にフォローする体制を持つことも重要である。



さらに糖尿病の治療開始時期を把握することも大切である。通常の健診では治療の有無のみで治療開始時期を調査しないため、追加的な調査をする。

健診の結果からコントロール状況を把握することができ治療期間がわかれば、対策をとるべき対象者を絞り込むこともできるだろう。



3 加害者直接請求受託範囲拡大の結果

種類	委任件数	請求件数	請求金額(円)	収納件数	収納金額(円)	備考
傷害	9	9	9,225,487	6	3,734,295	委任完了4件、 継続5件(うち3件未入金)
自転車	5	5	2,474,176	4	845,292	委任完了3件、 継続2件(うち1件未入金)
合計	14	14	11,699,663	10	4,579,587	

4 平成30年度保険者別第三者行為求償事務処理状況累計

保険者名	新規委任	請求状況		収納状況(医療)		収納状況(介護)		収納状況(合計)		完了件数
		回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)	
仙台市	129	318	138,163,837	169	74,862,680	14	11,997,155	183	86,859,835	152
(青葉区)	36	68	28,182,025	36	15,047,357	2	420,527	38	15,467,884	35
(宮城野区)	22	67	23,766,440	30	7,532,532	0	0	30	7,532,532	25
(若林区)	23	68	42,269,681	47	22,638,890	5	1,968,204	52	24,575,453	26
(太白区)	32	85	26,844,565	33	9,998,088	5	6,584,025	38	16,613,754	45
(泉区)	16	30	17,101,126	23	19,645,813	2	3,024,399	25	22,670,212	21
石巻市	16	55	6,122,869	28	5,064,424	7	42,700	35	5,107,124	22
塩竈市	5	10	24,347,753	8	9,462,963	0	0	8	9,462,963	7
気仙沼市	18	33	11,406,934	15	4,269,912	0	0	15	4,269,912	17
白石市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
名取市	7	17	26,110,524	9	5,931,654	1	503,708	10	6,435,362	9
角田市	0	4	3,384,739	5	2,102,130	0	0	5	2,102,130	4
多賀城市	8	34	18,405,909	10	8,018,915	0	0	10	8,018,915	9
岩沼市	3	22	6,232,113	4	1,758,129	0	0	4	1,758,129	6
蔵王町	1	1	4,501	1	4,501	0	0	1	4,501	1
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	4	24	8,191,339	4	168,252	0	0	4	168,252	5
村田町	0	1	4,398,054	1	4,398,054	0	0	1	4,398,054	2
柴田町	2	4	3,650,228	4	3,280,219	0	0	4	3,280,219	4
川崎町	2	3	1,841,979	2	1,195,840	0	0	2	1,195,840	0
丸森町	0	1	141,968	1	115,409	0	0	1	115,409	1
巨理町	3	6	3,995,906	2	524,690	0	0	2	524,690	3
山元町	4	6	842,321	5	542,163	0	0	5	542,163	5
松島町	1	3	5,692,053	0	0	1	1,141,695	1	1,141,695	1
七ヶ浜町	2	3	207,438	0	0	0	0	0	0	0
利府町	2	1	484,209	0	0	0	0	0	0	1
大和町	5	5	44,716	5	989,428	0	0	5	989,428	5
大郷町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富谷市	6	20	12,335,173	23	9,024,222	0	0	23	9,024,222	7
大衡村	1	1	61,896	10	110,000	0	0	10	110,000	0
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
涌谷町	2	4	1,272,695	1	73,010	0	0	1	73,010	3
女川町	0	4	78,736	1	147,343	0	0	1	147,343	1
加美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	12	18	7,307,754	10	3,011,743	0	0	10	3,011,743	11
登米市	6	20	4,186,259	12	3,320,720	0	0	12	3,320,720	9
東松島市	4	13	605,417	8	1,363,272	0	0	8	1,363,272	8
美里町	3	3	3,283,806	2	644,056	0	0	2	644,056	2
南三陸町	3	1	4,835,553	2	124,707	0	0	2	124,707	2
大崎市	17	39	15,081,566	25	10,379,889	0	0	25	10,379,889	19
歯科医師	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設国保	13	20	5,581,016	12	2,398,784	0	0	12	2,398,784	9
広域連合	177	573	419,774,621	240	183,421,301			240	183,421,301	165
合計	463	1,267	738,073,882	619	336,708,410	23	13,685,258	642	350,393,668	493

*本会の処理状況を記載している。
*仙台市は各行政区の値を合算したもの。

平成30年度 第三者行為求償事務処理状況

●収納金額3,100万円増加(過去5年間平均比)

平成30年度における第三者行為求償事務の処理状況がまとまりました。昨年度における新規委任案件は平年並みでしたが、損保会社等との交渉が長期化していた請求案件等について粘り強く交渉を重ねた結果、過去5年間の平均収納額を約3,100万円上回る3億5千万円超の求償額となりました。また、一昨年厚生労働省から「第三者直接求償事務に係る対応方針」が示されたことを受け、平成30年度から交通事故のほか、闘争・犬噛み・食中毒など全ての第三者行為加害者直接請求まで受託を拡大しました。

なお平成30年度については、傷害9件・自転車関係5件の計14件受託、約1,170万円の請求、約460万円の収納という結果となりました(※詳細は表3参照)。しかしながら、直接請求は、事故の事実関係を確認できる公的資料等の入手が困難な場合が多く、また判例等も少なく加害者側との交渉材料に乏しい等の課題があります。そのため、実務に当たっては交渉の要点やリスク等について、随時保険者と本会との協議が必要になる点を御留意願います。

第三者行為求償事務については、今後も保険者支援体制の整備を図りながら、充実強化に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

1 年度別請求・収納状況

年度	区分	新規委任 件数	請求状況		収納状況		完了 件数
			回数	金額(円)	回数	金額(円)	
平成26年度		463	1,215	708,072,435	599	317,193,763	393
平成27年度		471	1,099	603,074,440	505	267,836,819	405
平成28年度		498	1,104	680,916,181	617	359,007,986	460
平成29年度		484	1,449	812,026,978	735	388,970,804	628
平成30年度		463	1,267	738,073,882	642	350,393,668	493

2 損保会社と協議決定した案件

年度	区分	件数(件)	損保主張額(円)	合意額(円)	修正差額(円)
平成26年度		26	35,756,292	40,679,384	4,923,092
平成27年度		19	34,562,486	38,280,150	3,717,664
平成28年度		24	32,937,489	33,454,310	516,821
平成29年度		40	49,534,444	55,914,416	6,379,972
平成30年度		23	18,786,201	20,336,855	1,550,654

求償事務の疑問にお答えします!

求償事務(交通事故)に関する疑問な点、不明な点はお気軽にご相談ください。専門の相談員が親身になって、ご相談に応じます。

相談日/月~金曜日(午前9時~午後4時)

財務課求償係/TEL 022-222-7070(内線622)

求償事務相談員
佐々木 治雄





平成30年度 再審査申立状況（保険者申立）

●一次審査システムチェック対象項目の拡充により、査定件数・査定率が減少傾向

平成30年度の保険者別再審査申立に係る処理状況を、次表のとおりまとめましたのでお知らせいたします。

再審査申立状況は全体で、申立件数が95,577件であり、その内査定件数が51,643件、査定率（点数）1.53%となっており、前年度と比較して申立件数が1,018件減、査定件数が1,900件減（1.40ポイント減）であり、査定率（点数）が0.09ポイント減となっています。

本会の中期経営計画に基づく一次審査における査定率向上に向けた取り組みとして、システムによるコンピュータチェック項目の検証・精査の結果、医療上に関する縦覧・横覧審査及び調剤突合項目の拡充が図られたこと。また、審査委員会における事務付託項目（審査委員会の承認を得た上で、事務職員で処理を完結できる審査項目）を提案し事務付託のチェック項目を増やすことにより、審査委員の事務負担を軽減し、医療上の審査に専念できる環境を整えたことが影響しているものと思われます。

本会では、医療費適正化に向けた保険者支援事業として、今年度もレセプト点検事務ブロック別研修会の開催とレセプト点検事務巡回支援を実施し、保険者が効率的で適正な再審査申立を行えるように支援してまいります。

区分	申立		査定		査定率 (%)	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数
柴田町	2,158	11,169,778	392	108,899	18.16	0.97
川崎町	680	7,739,477	172	34,195	25.29	0.44
丸森町	230	1,802,153	165	34,355	71.74	1.91
巨理町	231	1,948,550	141	15,052	61.04	0.77
山元町	200	1,173,227	118	18,656	59.00	1.59
松島町	151	2,591,605	107	50,596	70.86	1.95
七ヶ浜町	1,969	33,784,268	351	247,261	17.83	0.73
利府町	1,439	8,895,208	302	56,602	20.99	0.64
大和町	1,578	6,587,814	302	58,514	19.14	0.89
大郷町	769	3,936,687	120	18,307	15.60	0.47
富谷市	561	3,840,126	406	63,634	72.37	1.66
大衡村	73	869,596	35	8,396	47.95	0.97
色麻町	347	3,450,600	124	18,630	35.73	0.54
涌谷町	1,025	9,065,510	401	73,479	39.12	0.81
女川町	247	2,761,591	107	16,601	43.32	0.60
加美町	1,057	14,071,729	471	107,017	44.56	0.76
栗原市	1,446	5,536,042	175	18,929	12.10	0.34
登米市	1,945	16,842,848	960	154,119	49.36	0.92
東松島市	1,580	15,545,475	660	64,962	41.77	0.42
美里町	31	73,839	17	2,263	54.84	3.06
南三陸町	112	200,012	90	8,063	80.36	4.03
大崎市	4,749	36,971,134	2,667	503,728	56.16	1.36
歯科医師国保組合	129	292,999	33	12,823	25.58	4.38
医師国保組合	0	0	0	0	0.00	0.00
建設業国保組合	1,296	11,648,756	445	84,237	34.34	0.72
後期高齢者医療 広域連合	31,166	136,573,539	24,050	6,371,666	77.17	4.67
合計	95,577	877,011,006	51,643	13,426,184	54.03	1.53

*本会の処理状況を記載している。
*仙台市は各行政区の値を合算したものの。

参考： 一般+退職+後期	申立		査定		査定率 (%)	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数
平成28年度計	97,824	741,672,048	55,096	13,769,371	56.32	1.86
平成29年度計	96,595	814,960,688	53,543	13,186,175	55.43	1.62

レセプト点検・再審査に関するお問い合わせは、審査管理課保険者支援係まで
TEL 022-222-7074（内線 515・516・517・518）

平成30年度保険者別再審査申立状況（一般+退職+後期）

平成30年4月審査～平成31年3月審査

区分	申立		査定		査定率 (%)	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数
仙台市	16,264	304,220,774	9,744	3,293,381	59.91	1.08
（青葉区）	3,984	64,755,066	2,281	731,227	57.25	1.13
（宮城野区）	3,007	84,440,834	1,451	727,205	48.25	0.86
（若林区）	2,970	54,402,921	1,849	410,374	62.26	0.75
（太白区）	3,555	51,136,675	2,413	778,308	67.88	1.52
（泉区）	2,748	49,485,278	1,750	646,267	63.68	1.31
石巻市	6,786	79,702,607	3,306	562,303	48.72	0.71
塩竈市	3,726	44,198,191	906	329,902	24.32	0.75
気仙沼市	1,099	15,535,626	845	245,085	76.89	1.58
白石市	175	2,912,780	84	14,995	48.00	0.51
名取市	6,316	52,826,167	2,316	498,960	36.67	0.94
角田市	632	1,126,568	104	8,705	16.46	0.77
多賀城市	1,132	7,398,471	337	53,740	29.77	0.73
岩沼市	786	6,513,262	571	74,927	72.65	1.15
蔵王町	870	4,438,382	138	33,743	15.86	0.76
七ヶ宿町	197	1,179,213	56	10,439	28.43	0.89
大河原町	1,346	8,826,667	203	86,513	15.08	0.98
村田町	1,079	10,759,735	222	62,507	20.57	0.58

国保連日誌

※開催場所の記載がないものは原則本会会議室で開催

平成31年4月

4日	●平成31年度東北地方国保協議会定期総会(新潟市)	
25日	●平成31年全国国保連合会常勤役員会議(香川県)	・柔道整復療養費審査委員会 15日 ・診療報酬審査委員会 17~20日 ・介護給付費等審査委員会(医療部会) 22日

令和元年5月

28日	●宮城県在宅保健活動者連絡協議会研修会	
29日	●国保担当職員初任者研修会	・柔道整復療養費審査委員会 15日 ・診療報酬審査委員会 21~24日 ・介護給付費等審査委員会(医療部会) 27日

令和元年6月

3日	●令和元年度第1回国保問題調査研究委員会	
7日	●障害福祉サービス費等給付担当者説明会	・柔道整復療養費審査委員会 14日 ・診療報酬審査委員会 19~22日 ・介護給付費等審査委員会(医療部会) 24日
13日 14日	●市町村介護保険担当職員研修会	
25日	●国保情報集約システム及び高額療養費等に関する説明会	
27日	●第三者行為求償事務担当者研修会	
28日	●令和元年度第1回介護保険調査研究委員会	

◇レセプト点検事務ブロック別研修会

6月28日 本会第2会議室

◇介護保険業務に係る保険者巡回訪問

6月25日 石巻市・東松島市
28日 白石市・岩沼市

7~8月の行事予定

7月8日	三役会議	
8日	監事会	
19日	理事会	
24日	通常総会	
30・31日	介護給付適正化システム等説明会	
8月22日	東北・北海道国保連合会第1回運営協議会(新潟市)	
29日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会(イズミティ21)	・柔道整復療養費審査委員会 毎月中旬 ・診療報酬審査委員会 // 中旬~下旬 ・介護給付費等審査委員会(医療部会) // 下旬 ・介護サービス苦情処理委員会 // 下旬

(開催場所の記載がないものは全て本会会議室で開催)

編集後記

夏祭りにぎわう頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。本号も業務御多忙にもかかわらず機関誌作成に協力いただいた、宮城県庁国保医療課の皆様、栗原市役所の皆様、武者先生、千葉行政栄養士に厚く御礼申し上げます。内部の担当者においては、各種レポートの作成等々、御助力いただき感謝いたします。さて、本会では、市町村の事務負担軽減を目的として、風しんの抗体検査等費用に係る請求支払業務を6月から開始しております。巻末には風しん対策事業の概要と、厚生労働省がシティーハンターとタイ

アップした啓蒙ポスターも掲載しております(P14~15参照)。本事業の対象年齢に満たないためか、普段あまり目にする機会が無いポスターですが、皆様はいかがでしょうか。個人的な感想として、厚生労働省担当者の意向が反映しているのかな、と思う次第です。なお、ポスター上段の見出しに大きく、目を引くような表現を記載しておりますが、あくまで「抗体検査等費用の請求支払業務を始めた」という意味になりますので御留意願います。(R.W)

EVENT INFORMATION

各種イベントのご案内

介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会

日時 令和元年8月29日(木) 13時30分から16時(受付開始12時30分)

会場 仙台銀行ホールイズミティ21(仙台市泉文化創造センター)大ホール
※公共の交通機関を御利用願います

講演 介護現場におけるアンガーマネジメント ~心と身体を整え毎日笑顔に~

第一印象研究所 代表 杉浦 永子氏



近年、本会へ寄せられる相談・苦情や苦情申立において、利用者やその家族と事業所間でのコミュニケーションが上手く取られていないために問題となるケースが散見されます。介護の基本である人と人との繋がりをより強固に、より円滑にしていくのがコミュニケーションであり、介護サービスの質を向上させる大変重要なものであると考えております。今回の研修会では、人と人がコミュニケーションをとる上で欠かせない感情、その中でも「怒り」の感情と上手に付き合うための心理コントロールであるアンガーマネジメントについて学び、互いのストレスを少なくし、不安や心配をかかえる利用者やその家族と良い人間関係を築くことで、介護現場における苦情対応や生産性の向上、また、職員の定着につなげ介護サービスの質の向上が図られるよう皆様とともに考えたいと思います。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

主催/宮城県国民健康保険団体連合会 問合せ先/介護保険課苦情相談係 TEL.022-222-7079

こくほ健康フォーラム21

日時 令和元年11月20日(水) 13時~16時(予定)

会場 大和町「まほろばホール」
黒川郡大和町吉岡南2-4-14
※無料駐車場有



昨年、笑いヨガを体験する皆さん

県内の国保・保健・福祉関係者が一堂に介して健康づくりに関する講演及び事業事例等を広く周知するとともに、地域医療の復興と地域住民の健康保持・増進のなお一層の推進に資するため、「こくほ健康フォーラム21~みやぎ健民を目指して~」を開催します。国保・保健・福祉担当者をはじめ、国保診療施設関係者、国保運営協議会委員、保健推進員及び食生活改善推進員など多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。

主催/宮城県国民健康保険団体連合会 問合せ先/事業推進課事業係 TEL.022-222-7077



伊豆沼・内沼はすまつりとりはら田園鉄道公園
渡り鳥の飛来地として世界的に知られる伊豆沼・内沼。7月下旬から8月末にかけてはハスが見頃を迎え、毎年「伊豆沼・内沼はすまつり」が開催されます。沼一面を覆うハスの花の間を小型遊覧船に乗って、のんびり進む船旅は別格です。伊豆沼・内沼と並んで人気の高い観光スポットが「くりはら田園鉄道公園」。長年地元の人々に愛され、2007年に配線となったローカル線「くりでん」への乗車体験や運転シミュレーター体験が好評です。



【表紙作者紹介】
佐々木 洋子(ささきようこ)
イラストレーター
仙台市出身在住グラフィックデザイナーを経て1987年よりフリーランス。水彩メインに手描き(アナログ)のシンプルさと奥深さを楽しみながら追求しつつ、ほか切り絵・アクリル画などでも制作
仙台を中心に活動中 個展/グループ展多数

⚠️ 風しんの感染を拡大させる可能性があります

風しんから、あなた自身と周りの人を守るために
風しんに対する抵抗力を確認・獲得しましょう

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の方は、
風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料*となります。

WHY?

Q:なぜ風しんへの抵抗力が必要なのか?

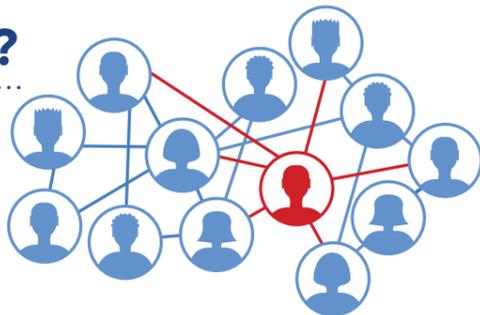
A・成人は小児に比べて症状が重くなる可能性があります。



WHAT?

Q:風しんに感染すると何が問題なのか?

A・電車や職場など人が集まる場所で、
多くの人に感染させる可能性があります。
・妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、
赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。



HOW?

Q:では、どうしたら良いのか?

A・まずは、風しんへの抵抗力を確認するため、抗体検査を受けましょう。
2019年4月以降、クーポン券が届きますのでクーポン券に従って抗体検査を受けて下さい。
2019年度は、1972(昭和47)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性に市区町村がクーポン券を送付します。
なお、2019年度にクーポン券が送付されない対象者も市区町村に希望すればクーポン券を発行し、抗体検査を受けられます。
注意:子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう。
・風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、
風しんへの抵抗力(免疫)をつけるため、予防接種を受けましょう。



抗体検査

職場での健康診断や近隣の
病院・診療所で受けられます。
クーポン券を使えば抗体検査は無料となります。

抗体あり

・風しんへの抵抗力があります。

抗体なし

・風しんへの抵抗力がありません。
・風しんにかかるリスクがあります。

予防接種を受けましょう

原則無料となります。*

風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。
小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱や脳炎になって入院することがあります。
成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

*2019年4月以降、順次クーポン券が届く予定ですが、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。



国保連合会、風しん対策事業始めました。

市町村の事務負担軽減を目的に、抗体検査等費用の請求支払業務を令和元年6月から開始しました。

対象：1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

風しん排除には—— 君たちの行動が 必要なのさ

対象の男性は
クーポン券を使って
抗体検査と
予防接種を受けようぜ*

抗体検査を
受けてないキミたち〜!

*2019年4月以降、順次クーポン券が届く予定ですが、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。

風しんから、あなた自身と周りの人を守るためにあなたにできること

1. あなたが風しんへの抵抗力があるかチェックするため、抗体検査を受けましょう。
2. 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、風しんへの抵抗力(免疫)をつけるため、予防接種を受けましょう。





旬の たより

プラス一皿で 夏も元気にのりきろう！

登米市食生活改善推進員協会の
皆さんと作成している
「登米の恵み 野菜レシピ」よりご紹介

旬の食材 その1

トマト

トマトは、美肌効果や風邪予防に役立つビタミンC、老化を抑制するビタミンE、塩分の排出を助けるカリウム、腸内環境を整える食物繊維などをバランス良く含んでいます。さらに、老化や動脈硬化、がんなどの生活習慣病の予防にも役立つリコピンやβ-カロテンも注目されています。

旬の食材 その2

きゅうり

きゅうりは、水分が多いためカロリーは低く「栄養がない」と誤解されがちですが、ビタミンCやカリウム、食物繊維等を含み、夏の食卓を彩る野菜の一つです。



野菜ココロもずく和え 4人分

エネルギー：30kcal 食塩相当量：0.6g カリウム156mg

材 料

- ・きゅうり 1/2本
- ・トマト 1/2個
- ・長いも 4cmくらい
- ・味付きもずく 2カップ

作 り 方

- ① きゅうり、トマトはさいの目切りにする。
- ② 長いもは皮をむき、さいの目切りにする。
- ③ もずくと①②を和え、器に盛りつける。

調理上のポイント

- 夏の暑い時期は、料理するのも億劫になりがちです。身近にある食材を組み合わせるだけで、暑さを和らげる一品に変身します。もずくに加える野菜は、その季節に応じてアレンジしてもおいしくいただけます。海そう類や野菜類にはカリウムが多く含まれ、高血圧予防にも効果的といわれていますのでお試しください。



登米の恵み 人・食・自然



登米市
市民生活部健康推進課 地域保健係
行政栄養士 20年

ちばみか
千葉 美香

好きな料理/時短料理

人と環境に優しい環境保全米、全国トップレベルの登米産牛、県内一の生産量を誇るきゅうり、独自の食文化である油麩やはっとなど登米には魅力的な食べ物が沢山あります。また、きゅうりやキャベツは、国の指定産地となっており、広大な山林を活用したきのこの他、たくさんの農作物の産地となっています。

市では、この豊かな自然に育まれた食材や食文化を次世代へ継承できるよう、人と人とのつながりを大切に食育に取り組んでいます。取組の一つとして、平成28年度から登米市食生活改善推進員協議会とともに「登米の恵み 野菜レシピ」を発行しており、その中からの一品をご紹介します。このレシピは、市内地産地消推進店等への設置、また登米市ホームページにも掲載しておりますのでご利用ください。

12月には「日本一のはっとフェスティバル」が開催され、多彩なはっと料理が市内外各地より勢揃い。名産品や新鮮野菜も並びます。是非、登米市へ足をお運びください。